

平成23年度八尾市産業振興会議提言書～今後の産業情報の発信について～(概要)

第1章 情報発信の重要性

情報発信全般を取り巻く現状

- インターネットの普及による、情報の流通量等の増加
- ブログ、SNS、ツイッターなど新たなサービスの誕生(個人が自ら情報を発信する機会の増加)
- 情報の共有の一般化
- デジタルデバイド(情報格差)の発生

情報の受け手は多くの情報から取捨選択する必要性に迫られている。
また、発信する側も情報を提供する相手に最適な方法で情報を届ける必要性が高まっている。

+

第2章 八尾市の産業情報発信の現状及び課題について

八尾市の産業情報発信を取り巻く現状

- 支援施策情報等の効果的かつ効率的な発信が必要。
- 八尾市立中小企業サポートセンター、産業政策課、八尾商工会議所、日本政策金融公庫が入居する合築施設がオープン。
- 市内産業の魅力発信の必要性の高まり。
- 八尾市中小企業地域経済振興基本条例の改正による、条例の理念の周知を図る必要性の高まり。

市外への発信も含めた産業情報発信の全体的な方向性や新たな方策等について検討する必要性が生じている。

現状を踏まえ、産業情報発信の全体的な方向性や新たに考えられる方策を検討

第3章 産業情報発信の方向性、取組み等について

産業情報の発信の実施にあたっての留意点

発信の対象及び目的の明確化

発信する情報の対象(市民or事業者、市内or市外)の絞込み、及び発信により期待する成果(目的)の明確化を行う必要がある。

発信情報の整理

受け手により分かりやすく伝えるため、発信の対象や目的に応じて内容を整理した上で発信を行う必要がある。

適切なツールの選択

紙媒体、デジタル媒体、映像媒体など様々な媒体を、発信の対象・目的に応じて適切に使い分け、活用する必要がある。

市内に向けた産業情報の発信

市民に向けた発信

- 目的**
- ◆市内産業に対する理解◆
 - ◆親近感や誇りの醸成◆
 - ◆市内消費の促進◆
 - ◆未来の担い手の育成◆

伝える内容

- 世界に通用する技術を持った企業の集積
- 市内の魅力あるお店情報
- まちづくりにおける産業の重要性

発信の目的実現のため、以下のツール等を用いて発信

**伝える方
ツール**

- 身近な商品からの気づき
⇒日々の生活で用いているもの、食べているものが八尾でも作られていることの気づき
- 身近にある生産現場の体験
⇒工場見学等ができる機会の創出
- 子どもたちへの発信
⇒地域の事業者の協力のもと、学校現場における市内産業を学ぶ機会の創出
- 働く場としての中小企業の魅力提供
⇒高校生やその保護者等が働く場としての中小企業の魅力を知る機会の創出

市内事業者に向けた発信

- 目的**
- ◆企業成長の促進◆
 - ◆成功事例の波及◆
 - ◆事業者連携の促進◆

伝える内容

- 支援施策等の周知(助成金、公的融資制度等の支援情報)
- 成功事例の共有(元気な企業経営者の成功事例等の情報)
- 市内事業者間の情報共有(市内事業者が互いに知り合う機会の創出)

発信の目的実現のため、以下のツール等を用いて発信

**伝える方
ツール**

- メールマガジン
⇒低コストで迅速な発信が可能なツールとして活用
- 団体等を通じた情報発信
⇒事業者団体への情報提供により、会員企業の特性に応じた情報選別を経た発信が可能
- 中小企業サポートセンターのネットワーク
⇒企業と直接接するコーディネーターを通じ、より企業ニーズにあった情報発信が可能

市外に向けた発信

- 目的**
- ◆市全体のイメージ向上◆
 - ◆企業の受発注機会の増加◆
 - ◆市内の消費促進◆

- 手法・留意点**
- マスコミの活用
⇒広域的な情報発信を行う重要な存在。いかにマスコミの関心を得るか検討が必要
 - 八尾の逸品・名品の発信
⇒今あるものの中から、魅力あるものを発掘。八尾の土地ならではのものとして発信
 - 「メイドインやお」の発信
⇒八尾で作られているものの認知度向上・発信
 - その他の情報発信のためのツール
⇒ツイッター、フェイスブック、観光大使等の活用

条例の理念の周知

- 目的**
- ◆産業集積のまちの発展◆
 - ◆市民・事業者・行政の相互理解◆

- 手法・留意点**
- パンフレットの作成・配布
⇒見る側が関心を持ちやすい、理解しやすいものとする工夫。配付方法の検討。
 - 発信力の高い層に重きを置いた発信
⇒子どもや女性等ターゲットの絞込み(特に子どもは大人への発信、担い手の育成につながるため重要)

第4章 産業情報の発信によるまちの活性化に向けて

重要! 人と人とのつながりによる発信

・人と人とのつながりで得られる情報は受け手に信頼や共感を与える
・情報の受け手が発信者となることで情報が届けられる範囲は際限なく広がる

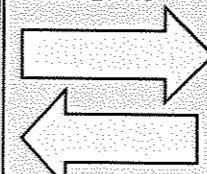
「人」は、発信された情報が伝わり、広がっていくための最大の原動力

発信された情報に基づき、八尾の魅力を認識し、八尾を愛した行動を実践する者が増えれば、地域活性化の大きな原動力となる

重要! それぞれの立場・役割による発信

市 民: まちづくりにおける産業の重要性や市内産業の魅力への気づきを得、生活者、担い手、発信者としての役割を果たす
事 業 者: 産業が市民生活を支えるという認識を深め、魅力ある製品・商品、店舗づくり、及び自らの魅力発信、成長に努める
行 政: 市民、事業者がそれぞれの役割を果たすためのサポート、及び市内の産業情報発信について必要な措置を講じる

発信の取組みにより理念を実現



理念に基づき発信の取組みを実施

条例の理念

- ◎市民、事業者、行政の相互理解と協働
- ◎「地域産業の栄える賑わいのあるまちづくり」の実現